

ボランティア紹介

劇団ファミリーいち座

公民館や福祉施設で、田舎芝居を披露する活動をしています。今回、東日本大震災の被災者支援のため、文化会館(十九田町)で、チャリティーショーを開催しました(7月18日)。芝居のほか、舞踊や歌謡ショーを披露し、来場した300人を楽しませました。

チャリティーショーの収益金から、10万円を東日本大震災の義援金として、岐阜県共同募金会の多治見市支会に寄付しました。代表の藤原さんは、「被災者の方たちのために、できることを続けていきたい」と話されました。

問い合わせ・申し込み

多治見市ボランティアセンター
電話(25)1131 <担当>古山



芝居を披露する一座



義援金を手渡す代表の藤原さん

夏季児童健全育成事業『わくわく塾』を開催

母子福祉センター

ひとり親家庭の児童が、夏休みの期間、規則正しい生活を送り、交流や社会勉強をする場として、総合福祉センター(太平町)で、26日間にわたり開催しました。仕事などの理由で、昼間、保護者が家にいない児童24人が参加しました。参加した児童は、自主勉強に取り組みながら、昼食やおやつを作ったり、交通安全や防犯について学ぶために警察署へ出掛けたりと、楽しい時間を過ごし、たくさんの思い出を作りました。



多治見警察署での交通安全教室の様子

多治見のお元気さん

今月のお元気さんは、北小木町の
中村蓉子さん(86歳)です。

中村さんは、南姫老人福祉センターや児童センターが開催するお茶会などで、お茶の立て方を指導したり、自宅の茶室でお茶を立てて地域の方をもてなしたりしています。お茶を習い始めたのは、小学校4年生の時で、40歳代から本格的に学び始めました。現在でもお茶を立てる振る舞いは、凜としていて年齢を感じさせないお手前です。

「今の楽しみは、南姫老人福祉センターが月に1回開くお茶会教室で、参加する皆さんと会うこと、週1回バスに乗って出かけることです。」と、生き生きと話されました。



作法を指導する中村さん(右)

障害者福祉センター 俳句コーナー

蝉の声 恋の相手に ラブコール
荻原 敦子

ラブレター 本に挟みし 祭りの夜
窪田 隼子

社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会とは

社会福祉活動を推進する営利を目的としない民間組織です。地域住民、福祉施設・団体、関係機関とともに、地域の人々が住み慣れたまちで、安心して生活することができる「福祉のまちづくり」の実現を目指し、さまざまな活動に取り組んでいます。

※社会福祉法人=社会福祉事業を行うことを目的として、社会福祉法の規定により設立された法人。公共性が極めて高く、営利を目的としない民間の法人。



リサイクル紙と植物性大豆油インキを使用しています。